（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいおんハート遊びリテーション児童デイ畑沢			
○保護者評価実施期間	2026年　2月　3日	～	2026年　2月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23人	（回答者数）	18人
○従業者評価実施期間	2026年　2月　18日	～	2026年　3月　15日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5人	（回答者数）	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化されないように工夫	日々、活動の内容が同じになることでお子様や従業員のマンネリ化を無くすため、活動案を出し合いまとめ、月単位でサイクルしていけるよう取り組んでいる。	活動案を更に増やしていくことや、外活動、粗大運動が行えるような工夫を考えていきたい。
2	個別支援での細やかな配慮や工夫	児発では個別支援にポーテージプログラムを活用している。 その他でも児発ではトイトレ、食事の介助などでの個別支援、児発、放デイともに交友関係でのコミュニケーションや関係構築のためにどのようにしたら良いかを支援等、一人一人に合わせた支援を心掛けている。	一人一人にあった支援を引き続き行えるよう、職員間での情報共有だけでなく保護者や保育園、幼稚園、学校との連携、また共通認識のもと支援に取り組めるよう取り組んでいく。
3	保護者や保育園・幼稚園・学校との連携	送迎時や面談、見学といったことでお子様の関係者の方々との連携に努めてる。	定期的に見学に行き情報の共有ができるようこまめに連絡を取れるように図る。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流や、他のお子様たちとの交流	児童発達支援では近隣の保育園との交流会を２ヶ月～３ヶ月に1度 地域のサッカー教室への参加を設けているが、放課後等デイサービスでは確立した交流の場が提供できていない	既存の交流以外で交流の場を設けることや、地域の方を招いての交流を考えていきたい
2	保護者向けの支援や交流の機会があまり設けられていない	秋祭りを開催しているため、その際に保護者同士の交流はあるがその他での交流の場がない。	事業所内で話し合い、保護者が気軽に参加できるような交流の場（保護者会や参観日のようなイベント）を提供していく
3	小学生高学年や中学生、高校生への支援	放課後等デイサービスでは、支援の必要な小学生低学年のお問合せが多い。そのため低学年の比率が多く活動案に悩んでしまうことが生じている。高学年以上のお子様も安心し楽しく利用していけるような工夫が必要。また、卒業後の就労に関する知識が不足している。	まずは地域や他事業所の取り組みがどのようなものかを情報収集。繋がりを作り移行支援や関係機関との連携、情報共有に取り組んでいく。